

今月のお知らせ

電話番号

総合政策課 地域振興係 財政係	☎82-5220
総務課 総務係 職員係	☎82-5210
町民生活課 税務係 町民係	☎82-5110 ☎82-5100
保健福祉課 保健係 福祉係	☎84-7005 ☎84-7010
農林振興課 農政係 林政係	☎82-5230
観光商工課 観光係 商工係	☎82-5240
環境整備課 地域整備係 生活環境係	☎82-5270 ☎82-5280
会計室	☎82-5120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所 (歯科)	☎84-2221 ☎84-2612
訪問看護ステーション	☎84-2130
こぶし苑	☎84-2101
只見振興センター	☎82-2141
朝日振興センター	☎84-2111
明和振興センター	☎86-2111

募集

農業者をめざす
奨学生を募集します

町では、将来只見町で農業に従事するため農業後継者育成のための学校に在学する方に対し、その修学に必要な資金の一部を貸与します。希望者はお問い合わせください。

対象者

福島県農業総合センター農業短期大学校、公益財団法人農民教育協会鯉湖学園農業栄養専門学校に在学している方。

※進学予定者も受け付けます。

※国または他の団体から同種の奨学資金の貸与等を受けていないことが条件となります。

貸与額

月額 10万円以内

返還及び免除規定

学校を退学した場合や卒業

放送大学4月生募集

放送大学では、平成28年度第1学期(4月入学)の学生を募集中です。放送大学は、テレビ等の放送やインターネットを通して学ぶ通信制の大学で、心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など幅広い分野を学べます。

資料を無料で差し上げていますので、お気軽に放送大学福島学習センター(☎0241-92117471)までご請求ください。

お知らせ

不動産所得を有する方へ

税務署では、適正かつ公平な課税を実現するため、不動産使用料の支払調書をはじめ

税 今月の納期

12月25日までに

納めましょう

- 国民健康保険税(6期)
- 後期高齢者保険料(5期)
- 介護保険料(6期)
- 水道使用料(3期)
- 農集排使用料(12月分)

問い合わせ

田島税務署

☎0241(62)1230

只見おもしろ学クイズ

12月12日に行われる只見おもしろ学検定に出るかも知れません!

〈第1問〉

三十三観音巡りの歴史は古く、平安時代(二国三十三観音)、鎌倉時代(坂東三十三観音)からの風習ですが、御蔵入三十三観音巡りはいつから始まったのでしょうか?

〈第2問〉

霧に映った自分の影のまわりに虹ができる現象を何といいますか?

(答えは17ページです)

ゆるキャラグランプリ2015

結果発表!

「ゆるキャラグランプリ2015」の結果が発表され、初出場のブナりんは全1,727キャラクター中399位となり、福島県内4位、会津では1位でした。

応援し投票してくださった皆さまあたたかいご支援ありがとうございました。



〈風評被害対策協議会(観光商工課)〉

南会津合唱フェスティバル開催!

町民手づくり公演(合唱の部)として南会津郡内の合唱団体・サークルが一堂に会し、日頃の成果を披露します。只見町からは「コーラスはなみずき」が出演しますので、ぜひご来場ください。

日時 平成27年12月20日(日)

14時開演(13時30分開場)

場所 御蔵入交流館文化ホール

問い合わせ先 南会津町教育委員会

☎0241(62)6311

町長の手帳

町長スケジュール(11月分)

- 1日 只見地区JAまつり、河井継之助杯只見剣道大会
- 3日 只見町文化祭開会式、
松下政経塾生との意見交換会
- 4日 国道289号八十里越交流事業
- 5日 しあわせ金婚夫婦表彰式
- 6日 ふくしま駅伝只見町チーム結団式、
自然首都只見展・三条市長との懇談(三条市)
- 8日 文化協会芸能発表会
- 9日 庁議、議会全員協議会
人材育成ダイヤモンドブラン講演会
- 10日 県道小林館ノ川線改修促進期成同盟会(県庁)
- 11日 職員労働組合交渉、林野庁整備課長との懇談会
- 12日 老人クラブお楽しみ昼食会、
会津ただみ振興公社取締役会、
長岡国道事務所表敬訪問(長岡市)
- 14日 只見新そばまつり、
エコパーク1周年記念事業(檜枝岐歌舞伎公演)、
エコパーク支援員懇談会
- 16日 ダム・発電関係市町村全国協議会・勉強会(東京)、
- 18日 全国町村長大会、東京オリンピック・パラリンピックを活用した地域活性化首長連合会総会、
南会津地方町村長懇談会(東京)
- 20日 除雪会議、福島県国保審査会(福島市)
- 24日 実施計画ヒアリング、馬場光男氏叙勲伝達式、
会津若松市長との懇談会(会津若松市)
- 25日 阿賀川河川事務所長来庁、
会津地区国有林野等所在地元市町村長有志協議会(会津若松市)、庁議
- 26日 南会津会評議員会・理事会(南会津町)、
会総協臨時総会(会津若松市)
- 29日 ふるさと只見会・懇親会(東京都)(~30日)
- 30日 12月予算補正町長査定・実施計画ヒアリング

「河井継之助杯只見剣道大会を通して」

河井継之助杯只見剣道大会が只見小学校体育館で開催されました。ソフトやバレーはスポ少で馴染みがありますが、剣道の試合を生で観戦できるのはめったにありません。剣道を愛する子ども達が増えていることは知っていましたがこれほどとは思わず、技・スピード・気迫どれをとっても子どものものとは思えない素晴らしいものでした。剣道は技の修練と同時に人間修業といった側面もあり、私たち日本人には他の競技とは違った一種特別な魅力・共感を呼び、負けても勝っても「礼に始まり礼に終わる」です。参加者には女子剣士も多く、面白かったのは女子も男子に決して負けておらず勝つことさえあることです。自分なりに「この子はいいな、元気がある」と思っていた子が勝ち進んでいく事がこの日一番の自己満足でした。

この大会は剣道スポ少の保護者が企画し実現に結びつけ、「河井継之助杯」とした事も色々な意味合いがあります。継之助の精神(心)、人物、歴史を学びとって欲しいという願いと、剣道の普及そして只見高校でも部活としてしっかりと指導者のもとで取り組ませたいという思いが込められています。「貴殿の剣道への情熱と気迫は広く只見の地に響き渡り時を超えて継之助の魂を揺さぶるものとなった」という賞状の文言も保護者の皆さんで考えられました。子ども達には継之助の精神を受け継ぎ、親の思いをしっかりと受け止め更に精神が成長してくれることを願います。

只見町長 目黒 吉久

町民の消息

(10月26日～11月25日届出分)敬称略

■お誕生日おめでとうございます

金子 ^{ゆき}幸 ^と都 (男/裕一・美里) 只見
 長谷部 ^{きみ}君 ^か歌 (女/貴一・佳代) 八木沢
 馬場 ^{あき}翠 ^ほ歩 (女/主・唯) 大倉

■ご結婚おめでとうございます

石伏 川瀬 淳雄 ♥ 赤塚久美子 只見

■おくやみ申し上げます

山内 初江	60歳	布沢
八久保 桂四郎	92歳	黒谷
山内 オヤソ	97歳	長浜
赤塚 トメセ	94歳	只見
飯塚 コフヂ	93歳	長浜
角田 キミヨ	67歳	小林

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

平成27年11月1日現在

人口 4, 452 (－ 6)
 男 2, 166 (－ 2)
 女 2, 286 (－ 4)
 世帯数 1, 795 (－ 1)
 高齢化率 43.8%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 2 転出 3 出生 0 死亡 5

あとがき

▽早いものでもう12月。今月号が今年最後の発行になります。
 ▽この時期になるとよくマスコミに取り上げられるのが流行語大賞の話題です。ノミネートされた言葉を見ると、そういった1年間の事なのにとっても昔の事のように思う事も多いです。
 1年前の事も昔の事に感じるのには、それだけ多くの出来事や活躍した人が多いのだと思います。来年は多くの人の記憶に残るような良い出来事や、活躍する人が今年以上に増えてくれれば良いと思います。

(古津)

町民憲章

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくり楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

只見振興センター
三瓶美由紀

只見振興センター
図書室 ☎82-2141

おすすめ新着図書

★だから、生きる。

つんく♂ / 著 (新潮社)

「だから、生きる。」



思いも寄らない事態に直面したとき、何を捨て、何を選ぶのか——究極の生き方論。

「一番大事にしてきた声を捨て、生きる道を選びました」——歌手、音楽プロデューサーとして大成功を収める著者を突然襲った、「喉頭癌」という病……。声帯摘出に至るまでの壮絶な日々と、闘病中も、なにより大きな支えになってくれた大切な家族のこと。平坦ではなかった歌手生活、プロデューサーとしての思い。そして、声を失って歩き始めたばかりの人生について。どんな逆境をも肯定する、希望の歌。

★絵本“弁当の日”がやってきた!!



竹下和男 / 著

魚戸おさむ / イラスト (河出書房新社)

大切なルールは「親は手伝わない」こと。献立づくりに、買い出し、調理、弁当詰め、後片づけまで、やるのは全部子ども自身。全国で1700校以上が実践している“弁当の日”が絵本になりました。

★その他にも図書室にはたくさんの本が置いてあります。リクエストも随時受け付けていますので、ぜひご利用ください。

15ページ
 只見おもしろ学
 クイズ 答え
 (第1問) 元禄11年
 (第2問) ブロックン現象